

堀川沿い飲食街利用者等アンケート調査 調査結果

調査概要

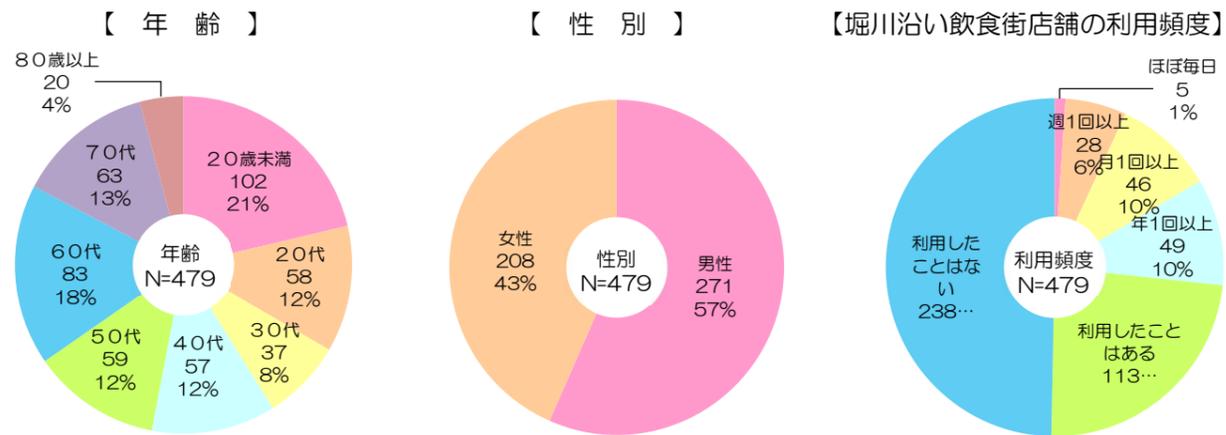
- 調査期間:平成30年11月30日(金)~12月1日(土)
- 対象者:折尾駅利用者及び飲食街の利用者・歩行者
- 回答者数:479人



調査結果のポイント

- ◆回答者の85%は飲食街を認知し、特に折尾地区の居住者の認知度は92%と高い。また、通行したことがある回答者も全体の80%を占めており、特に学生は約40%が毎日通行している。
- ◆高い認知度・通行頻度に対して、飲食街の利用頻度は比較的低い。
- ◆回答者の約60%がレトロな街並みを希望し、ほとんどの年代で同じ傾向にある。
- ◆明るく、若年層でも気軽に立ち寄れる店舗への要望が挙げられた。

回答者の内訳



【Q2】 今後新しくなる堀川沿いのまちづくりにおいて望まれる街並み（選択制）

(以下のイメージパースを基に質問を実施)



現状

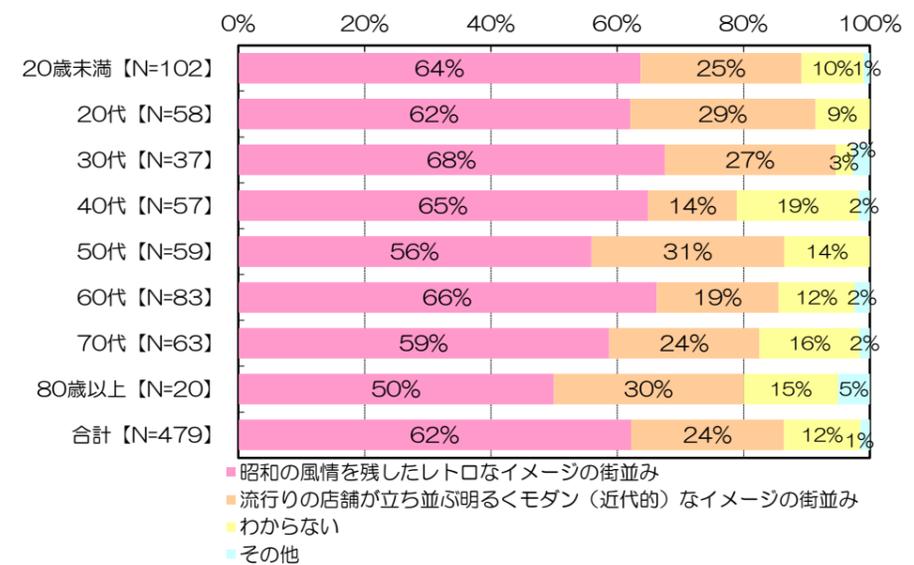


昭和の風情を残したレトロなイメージの街並み



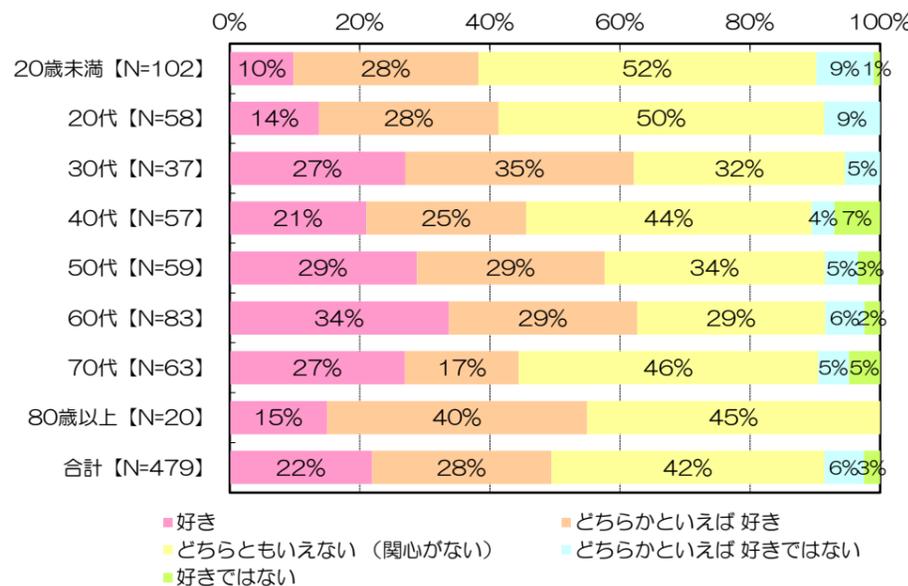
流行りの店舗が立ち並び明るくモダン（近代的）なイメージの街並み

約25%がモダンな街並みを希望していることに対して、約60%がレトロな街並みを希望している。また、ほとんどの年代で同じ傾向にある。



【Q1】 現在の堀川沿い飲食街についての意見（選択制）

回答者の半数が「好き」または「どちらかといえば好き」という意見を持っている。一方、「関心がない」「どちらかといえば好きではない」「好きではない」という意見も半数いる。



【Q3】 堀川沿いに並んでほしい店舗について（自由回答）

喫茶店やファストフード店等の気軽に立ち寄れる店舗、スーパーや日用品が購入できる店舗への要望が多く挙げられた。

店舗の種類について

- ・飲食店（18） ・喫茶店（16） ・スーパー（13） ・ファストフード店（9）
- ・居酒屋（7） ・コンビニ（5） ・日用品（4） ・飲み屋以外の店舗（3） 等

店舗のターゲットについて

- ・学生・若者向け（15） ・ファミリー層向け（4） 等